

平成30年度 川崎市地域自立支援協議会について（案）

平成30年3月15日
川崎市地域自立支援協議会企画運営会議

今年度の市協議会活動の振り返り

【市協議会全体として目指す地域】

障害のある人もない人も、お互いを尊重しながら、ともにささえあう、
自立と共生の地域社会の実現

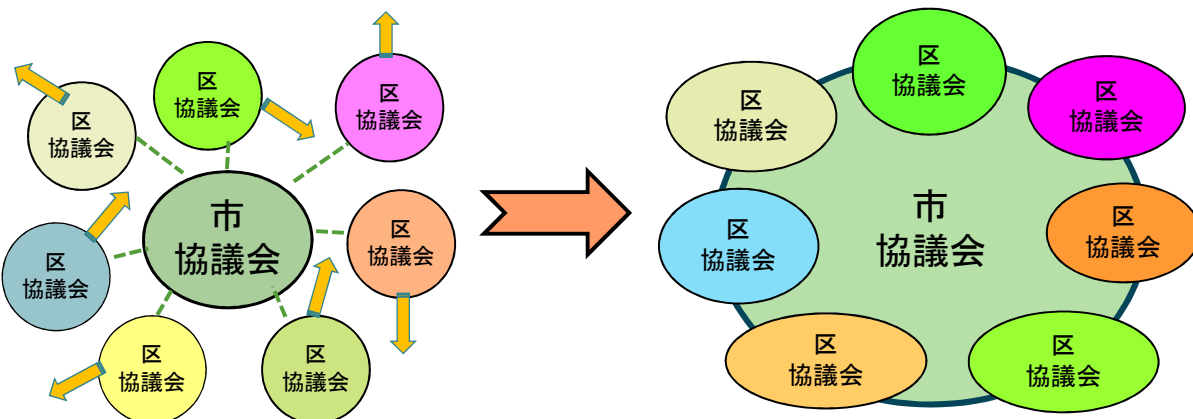
◆今年度の振り返り（主な取組み）

- ・平成30年度 第4次かわさきノーマライゼーションプラン改定（第5期障害福祉計画）に対する意見集約
- ・目標設定を意識した各区協議会での具体的な取組み
- ・各区共通とした課題整理・管理のモニタリング
- ・各専門部会や各ワーキングでの具体的な取組み

平成30年度の市協議会について

- 今年度の振り返りを踏まえ、今後の市協議会全体が取り組んでいく活動が、市協議会全体として目指す地域の実現に向かっていけるように協議運営体制等について検証し、より効果的な体制を構築していく必要性もわかってきました。これまでの体制を維持しながら、次年度は主に次の3点を中心に運営体制等について検討し改善していきたいと考えています。

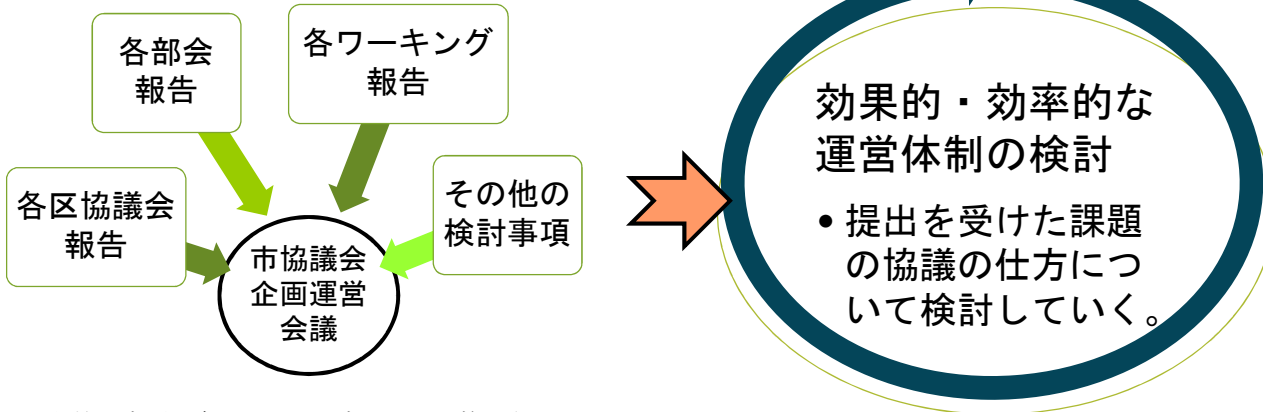
1、各区協議会と市協議会との連携について



各協議会の活動は活発になってきたが市協議会として、区同士、区と市の協議会の連携が効果的でない。

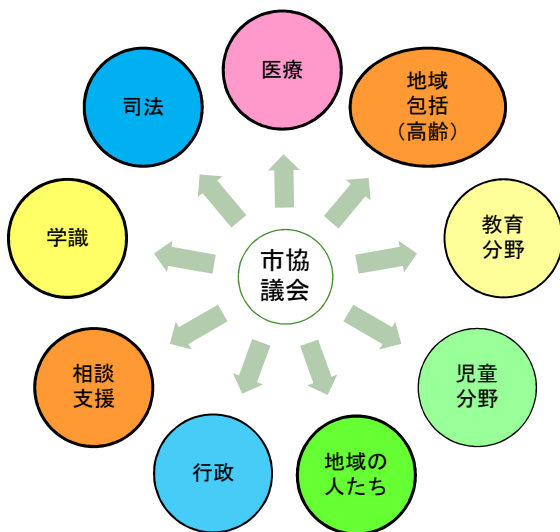
各区の特徴や地域性を活かし、取り組んできた活動が市協議会全体として目指す地域の実現に近づいていける連携のあり方を検討していく。

2、市協議会 企画運営会議について



必要な検討事項が多岐にわたる事から課題整理されてきた課題検討が十分に行えていない問題が発生。

3、市協議会 全体会議について



- 市協議が取り組んできた活動を通じ、市協議会全体として目指している地域を実現していく。
- そのために、全体会議の委員について、様々な領域の方々に参画していただき、これまで以上に具体的な協議・検討を行い、様々な知見を協議会の活動に反映していく。
- また、取り組んでいることについて、一緒に考え、この取り組みを広げていくことを促進していけるよう、全体会議の内容や構成員のあり方について検討していく。